

吉本章紘 tenor sax
遠藤ふみ piano
須川崇志 contrabass
則武諒 drums

2025 12月06日(土)
開場 13:00 afternoon live live
開演 13:30
(2ステージ入替無)(1drink=600)
MC=4200+2drinks order

CAFE BEULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



遠藤ふみ

1993年2月生まれ。ピアノなど。2025年7月現在、継続して活動しているユニットに幽けき刻、鏡の声、Uquwa、Thieves、Phipt、奥遠宮、佇々、хадгалагдах、吉本章紘カルテット、clouds犬、ふかふかさ、わに、他(名前があるものに限定して記載)。性質と性質の境界のようなところ、同時に、そこにたしかにあるかもしれないこと。2023年2月、FtarriレーベルのHitorriよりソロCD『つめたい光、あたたかい青の中』をリリース。他2022~2025年にかけて複数の参加作あり。

■演奏予定・音源情報:

<https://linktr.ee/e23227>

吉本章紘

サクソ奏者・作曲家。1980年神戸生まれ、東京在住。2003年に渡米、Frank Tiberi, George Garzone, Joe Lovanoの各氏に師事し、パークリー音楽大学演奏科を2006年に卒業。2010年、自己のカルテット(吉本章紘, Aaron Choulai, 須川崇志, 石若駿)を結成し、アルバム『Blending Tone』(2012年)『Moving Color』(2015年)をリリース。2018年4月、ピアニスト"Billy Childs Quartet"のブルーノート東京公演(グラミー賞受賞記念コンサート)に2日間参加。同年、須川崇志とのデュオ即興演奏をライブ収録したアルバム『Oxymoron』をリリース。2019年、自身の作曲に焦点をあてたアルバム『Nostalgic Farm』を自主制作。2022年には、即興演奏を全面に出したアルバム『64 charlesgate』を、地底レコードよりリリース。現在は、自己のプロジェクトの他に、大西順子セクステット、サキソフォビア、原信夫とシャープス&フラッツ、守屋純子Orchestra、森田真奈美Big Bandなどにレギュラー参加。公式ウェブサイト

<http://www.akihiroyoshimoto.com>

須川崇志

群馬県伊勢崎市出身のジャズベーシスト。11歳からチェロ、18歳からコントラバスを始め、パークリー音楽大学卒業後、ニューヨークで菊地雅章氏に師事。帰国後は日野皓正クインテット、渡辺貞夫カルテットなどに参加。現在は自己のトリオBanksia Trio(林正樹, 石若駿)をはじめ、峰厚介カルテット、本田珠也トリオ、八木美知依トリオ、藤井郷子TOKYO Trioなど多くのグループに参加し、東京JAZZやモントルー・ジャズ・フェスティバルなど、国内外のジャズフェスティバルに出演も多数。近年は、俳優・金子あいの舞台「平家物語」の音楽をソロ演奏で担当。Audi A5新車発表会(2017)、岡本太郎記念館での写真展「日本の原影」(2019-20)、パブリックアート作品のための音楽制作も手掛ける。2018年にデビューアルバム「Outgrowing」(Leo Genovese, Tom Rainey)を発表、Banksia Trioでは3枚のアルバムをリリースしている。最新作は2023年発表の同トリオの作品「MASKS」。

則武諒

1984年、愛知県名古屋市出身。ロック、ヘヴィメタル、ハードロック、パンクなどから影響を受けるが次第にジャズや即興音楽に傾倒する。ボストンのパークリー音楽大学を卒業後、ニュージャージーの名門ウィリアムパターソン大学に進学し音楽修士号を取得。教養に裏付けられた深く洞察力溢れる揺るぎないドラミングは多方面から高い評価を得て数多くのユニットで活動中。